

「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」
第3回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	特定非営利活動法人大阪海さくら		
事 業 名 称	大阪湾でアマモを育て海の生物を知ろう、淀川ゴミ拾い『大阪海さくら』	助成額	50万円
申 請 事 業 の 概 要	「大阪市民が海の素晴らしさを学び、自然豊かな大阪湾になって、みんなで幸せになる」ため、淀川下流の定期清掃などの海の清掃活動、アマモ移植活動、海の生物や大阪湾を知る活動の3つの柱で活動を行っています。		
申 請 事 業 の 目 的	子どもたちが安心して遊べる豊かな海を取り戻し、自然を学びみんなが幸せになることを大きな目的にしています。町のごみを海へ行かせないよう少しでもきれいに、まず身近な大阪湾から全国へと拡大させていこう！という活動です。大阪湾は持続的な海洋生物の保全に必要な干潟やアマモ場がありません。豊かな海を取り戻すため、アマモ場を形成に必要なアマモの移植活動。本地域のアマモ場及び、海洋生物の保全の目的で、大阪湾沿岸及び、淀川河口流域の清掃活動。さらに音楽やマリンスポーツのイベントなどをして、ゴミ拾いやアマモの現状や重要性を普及啓発し巻き込んでいきます。今後の大阪湾のアマモ場保全を持続していくために、生き物観察会など環境学習を実施します。		
関連するSDGs目標	目標13「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」 目標14「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」		

2. 助成事業の実績・成果等について

<p>【定期清掃活動】</p> <p>1/21『第145回定期清掃』参加者 23人ごみ袋 16袋 2/18『第146回定期清掃』参加者 7人ごみ袋 10袋（梅田同時開催 37人 5袋） 3/17『第147回定期清掃』参加者 70人ごみ袋 55袋（イベント開催） 4/21『第148回定期清掃』参加者 45名ごみ袋 21袋・ 5/19『第149回定期清掃』参加者 24名ごみ袋 20袋・ 6/16『第150回定期清掃』朝と夕で 80人 20袋・33袋（イベント開催） 7/21『第151回定期清掃』参加者 60人ごみ袋 61袋（イベント開催） 8/18『第152回定期清掃』参加者 24人ごみ袋 32袋 9/15『第153回定期清掃』参加者 35人ごみ袋 51袋 10/20『第154回定期清掃』参加者 35人ごみ袋 40袋 11/17『第155回定期清掃』参加者 45人ごみ袋 21袋 12/15『第156回定期清掃』参加者 36人ごみ袋 40袋</p> <p>【ごみ拾いイベント・活動】</p> <p>2/18『大阪海さくらチャリティーコンサート』開演前のごみ拾い参加者 37人ごみ袋 5袋 3/17『stop! プラごみ』大阪PTA協議会コラボ 参加者 70人ごみ袋 55袋 3/23 FM 大阪堺浜ごみ拾い参加 4/9 石田エンジニアリング新入社員とコラボ 16人ごみ袋 16袋 4/20 鴻池運輸クリーンアップ作戦参加</p>
--

- 4/27 ちきりアイランド ごみ袋 30 袋
- 6/16 朝・「プラゴミ調査隊」拾ったゴミをひろげ展示、分別の勉強やゴミになった経緯を考える（淀川河川敷）
- 6/16 夕・「よどがわおさんぽ LIVE・ごみ拾い」 参加者 80 人お散歩の人たち・ごみ袋 53 袋
- 6/19 アストラゼネカ様コラボごみ拾い
- 7/4 アストラゼネカ様コラボごみ拾い
- 7/6 『Suma 豊かな海プロジェクト』マイクロプラスチック探検隊参加者 22 人ごみ袋 3 袋
海岸漂着ゴミ、マイクロプラスチック調査 プラごみワークショップ・プラごみ物語寸劇（須磨海岸）
神戸海さくら・須磨里海の会合同） 112 人
- 9/28 阪神高速道路様×ガリレイ様 『環境学習・ごみ拾い』ゲストに大阪公立大学宇山先生
「解決プラゴミ調査隊」拾ったゴミを分析、さらにゴミを減らすにはどうするかを考える（淀川河川敷）
- 10/2 アストラゼネカ様コラボごみ拾い 23 人 6 袋
- 10/5 鴻池運輸クリーンアップ作戦参加
- 10/25 アストラゼネカ様コラボごみ拾い 15 人 6 袋
- 11/9 SBI 新生銀行様コラボ環境学習・ごみ拾い（ゲスト淀川河川レンジャー岸田隊員） 30 人 30 袋
- 11/14 アストラゼネカ様コラボごみ拾い 19 人 6 袋
- 12/24 アストラゼネカ様コラボごみ拾い 23 人 5 袋

【アマモ調査】

- 3/24 アマモ移植祭 ちきりアイランド 450 株植える
- 3/31 アマモ地引網調査 江井ヶ島
- 4/27 アマモ調査 ちきりアイランド 3 株
- 5/25 アマモ調査 ちきりアイランド
- 6/21 アマモ調査 ちきりアイランド/二色の浜
- 6/29 アマモ調査 ちきりアイランド
- 7/27 アマモ調査 ちきりアイランド オゴリ大量発生
- 8/6 アマモ選別会 江井ヶ島
- 9/8 アマモ地引網調査 江井ヶ島
- 9/21 アマモ種まき 岡山県日生漁港
- 12/9 アマモ地引網調査 江井ヶ島

【イベント・講演会】

- 1/19 地球環境基金 LOVEBLUE 登壇 大阪海さくらの活動について
- 2/18 『大阪海さくらチャリティコンサート』音楽と講演 ゲスト徳島大学客員教授中西敬教授 150 人
- 3/3 和の森 kyoto イスキア 笑顔と感謝でいきいき生きる講演
- 4/4 フクシマガリレイ様 活動と海の環境について講演会
- 5/8 MOBA リンク会議 1 回目
- 5/11 大阪市 PTA 協議会 講演
- 6/20 東亜建設工業株式様 アマモ会議
- 6/30 はんなん海の学校講演会参加
- 7/14 大阪公立大学 講演
- 7/19 ワールドクリーンアップ アジアリーダーの会参加
- 8/2 プラごみで作るアクセサリー あすなる学童（マクミックブラザーズ寸劇） 30 人
- 9/5 MOBA リンク会議須磨 2 回目
- 10/20 このはな区民まつりブース参加（河川レンジャー牧野隊員）蟹釣り・ちりめんモンスター
- 11/10 高石市高師兵へ稚魚の放流参加
- 11/16～17 「大阪自然史フェスティバル」（2日間）にブース出展、プラゴミアートの展示・アマモ育苗キット販売
- 11/23 あつまれ！博多 only 湾！豊かな海を体感しよう！参加

12/1 ゆめ・まちこどもラボ×古野電気（アマモ育苗キット作成と講演）
12/4 『海のゆりかごアマモ』再生プロジェクト・環境事業協会 講演（貝塚/二色の浜）
12/20 MOBA リンク会議 3 回目
12/22 『海のゆりかごアマモ』再生プロジェクト・環境事業協会 講演（貝塚/二色の浜） 子ども Vr.

【メディア】

KISSFM バンディの番組サラヤ/大阪市 PTA 新聞/他

3. 課題分析や今後の発展性

定期清掃では、リピーターになった参加者や、学生・会社のグループ友達の参加が目立ってきています。これまで私たちが目指してきた『広く活動を理解して頂く認知して頂くために、広報を強化した』こと『講演会が多かったのもそこからの参加者』『音楽と活動からの口コミ』ができたと思います。

活動告知ちらしや、イベント開催と時間をかけて「大阪海さくら活動中」の宣伝をする一方、

SDGs やブルーカーボンなどがようやく広がり始めたので、他団体のイベント情報を得てブース出展することもできました。

今後は認知度を上げて、つながりのある企業や団体が企画するイベントにも呼んでもらえるように動いて行きたいです。

活動の度に、『ゴミ拾いする人になってポイ捨てしない人を増やす。物を大切に使う』という言葉を常に言い続けていきます。

そしてアマモに関しては、

今年初めて子どもたちとアマモの種を植えました。これまで、アマモを育てることは企業や大阪海さくらの活動にかかわる関係者であったのですが、今年は阪神阪急ホールディングス様、環境事業協会様が、子どもを対象としたアマモの育苗と海の環境学習を企画して『アマモ育苗キット』を取り入れました。12月に3回100人（子ども70人）が『アマモ育苗キット』でアマモの種を植えました。

過去3年間、アマモ藻場形成をした場所「阪南2区・ちきりアイランド」では、アマモが根付くことには成功しました。

今年、子どもたちが海の砂の中に入ってアマモを移植しに行く、砂浜のある「高石市高師浜」でのアマモ移植活動へ！

藻場形成に挑戦です。

新しい大阪湾内のアマモ北限の高石市高師浜です。

4. 代表者又は担当者からのひとこと

昨年は阪神高速道路様の助成を受けながら他団体との交流の元、それらからつながるご縁があり、活動範囲も広がり、頑張りました。

今年度はいろんなイベントや環境学習会などで、年間8回の講演のをしました。そこでみなさんから感じたことは、

環境に対してとても興味があるが、実情を知らないこと、思っているより深刻な事態であることです。

今後の大阪海さくらの活動は、少しでも多くの大阪市民と子どもたちに、この現状を伝えること、海や川、山の自然を知り守ることの大切さを伝えてゆきます。

大阪湾では昨年までの『阪南2区・ちきりアイランド』での成功を受けて、今年から『高石市高師浜～大阪湾の北限の自然砂浜～』で、アマモの育成にチャレンジします。

これからも宜しくお願い致します。